

<2021 年度 JODA 2 次選考会参加の皆様へ>

2021 年 3 月 5 日、日本政府より 1 都 3 県について 3 月 21 日まで、緊急事態宣言の延長が発表されました。

それを受け、JODA としまして、開催判断基準を改変することを、臨時理事会および開催主催地団体と協議した結果、下記のとおり決定します。

JODA が開催判断基準を改変することになり、そのことが参加者を混乱させてしまったことを深く反省しており、誠に申し訳ありませんでした。開催の中止か実施かいずれの判断をしても、反対の意見はありません。選手、関係者の皆さんが、現時点でも熱心に練習されていること、JODA はより強い選手をナショナルチームとして送り出したいことから、感染予防対策を徹底しての開催判断に至りましたことをご理解いただきたいと思います。

記

1) 開催判断基準の改変理由

- ・ JODA にて開催判断基準に「緊急事態宣言」の有無を設定したが、現在の行政、JSAF などのイベント開催基準ガイドラインに沿ったものでなかった
- ・ 他の競技も感染防止対策を十分に取りながら大会を開催しており、同様にセーリング競技も十分な感染防止対策を取れば、開催可能と判断した
- ・ 今後も宣言は地域限定しての急な発令や解除が常態化する可能性があり、全国一律での解除判断が適当ではないと判断した

以上のことから、一律の宣言有無による開催可否決定が不適切と判断し、改変することとした

2) 開催判断基準

①「緊急事態宣言」が解除されていること

→①開催地の「緊急事態宣言」が解除されていること。

また発令地域が限定的であること。限定的の判断は理事会にて決定する

②また「緊急事態宣言」解除後、大会までに必要な準備期間があること

→②また大会開催の決定後、大会までに必要な準備期間があること

以下は変更なし

③その他、行政の示す開催判断基準、ガイドラインを満たしていること

④選手、サポーター、運営スタッフが予防策を講じることにより安全に参加できると判断できること

3) 改変の影響

最終選考会は緊急事態宣言の発令地域が限定的であると理事会にて決定されたため、予定通りの日程で開催します。

但し、事態の悪化などにより再度変更の可能性もありますのでご了承ください。

参加される選手、関係者の皆様におかれましては、引き続きガイドラインに従い、十分な感染防止対策を行い参加して頂きますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

4) その他、JODA 主催の大会

その他、JODA 主催の大会も都度、状況を勘案し、開催の判断を行います。

2021 年 3 月 8 日

日本オプティミストディンギー協会 理事長 濱本徹夫